

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

2023-2024 ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2520

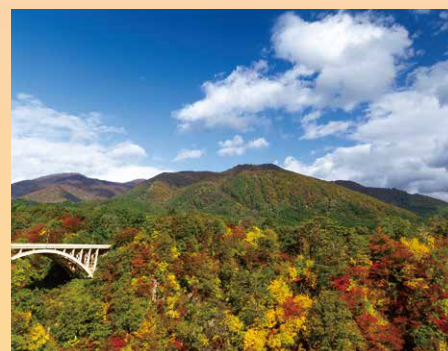
月信 Vol.4

2023
[OCTOBER] 10



Contents

ガバナーメッセージ	3
国際ロータリー第2520地区 2023-2024年度ガバナー 森川 昭正	
パストガバナーメッセージ	4
2004-2005年度 ガバナー 小川 惇	
パストガバナーメッセージ	5
2005-2006年度 ガバナー 桑原 茂	
パストガバナーメッセージ	6
2002-2003年度 ガバナー 菊地 弘尚	
地域社会の経済発展月間に寄せて	7
仙台経済同友会 西井 英正	
米山月間	8
ガバナー公式訪問 報告	9
ロータリー財団管理委員長 イアンH.S.ライズリー氏より感謝状	11
第2520地区ロータリー財団セミナー 補助金管理セミナーを終えて	11
インターアクト年次大会2023開催報告	12
青少年交換(長期)来日生オリエンテーション・引き渡し式	12
2023 世界ポリオデーに行動しよう!	13
新入会員紹介・退会会員報告	14
寄付報告・月間行事予定表	15
編集後記	16



秋の名所といえば鳴子の名前を挙げる人は多いのではないだろうか。例年10月中旬頃から深さ100メートルの大峡谷が色とりどりに染まる鳴子峡。美しい紅葉と温泉を一緒に楽しむのは鳴子の魅力の一つではないだろうか。

[表紙写真提供]

Kappo (株式会社 プレスアート)



グローバル補助金とシェアシステム

～ 地域社会の経済発展月間にあたって ～

国際ロータリー第2520地区 2023-2024年度ガバナー

森川 昭正 Akimasa Morikawa

10月は「地域社会の経済発展月間」です。

My Rotaryのロータリーショーケースやロータリーボイス(ロータリーのブログ)を見ていると、国内海外問わず、さまざまな奉仕活動について知ることができます。その中には各クラブ単位で行っている事業もあれば、地区補助金やグローバル補助金を活用した事業もあります。地区補助金については、当地区でも活用されていますが、グローバル補助金については、まだまだ活用されていないのが現状です。

グローバル補助金は、ロータリーの重点分野である「平和の推進」「疾病との闘い」「水と衛生」「母子の健康」「教育の支援」「地域経済の発展」「環境の保護」のいずれかに該当し、持続可能かつ測定可能な成果をもたらす大規模な国際的活動を支援するために利用されます。皆様のクラブにおかれましても一度挑戦してみたいはいかがでしょうか。

地区のロータリアンの皆様からの寄付のうち、年次基金寄付と恒久基金収益は3年後に国際財団活動資金(WF)と地区財団活動資金(DDF)にそれぞれ47.5%ずつ配分され(これをシェアシステムと言います)、地区補助金やグローバル補助金として地区で活用できるようになります。

グローバル補助金を活用したプロジェクトの参考例として1つご紹介致します。少し前になりますが2017-2018年度に、RI第3640地区のソウルROTCロータリークラブと、私の所属する仙台宮城野ロータリークラブと共同で、ソウル市内の未婚の母に技術・技能を訓練する機会を与え、母親が社会の中で自活し、親子として人並みの所得が得られるように支援する目的で、「未婚の母の貧困削減プロジェクト」を実施いたしました。これは7

つの重点分野のうち「地域経済の発展」として申請いたしましたが、その時の「プロジェクトの予算」と「補助金の支給額」を表1に示させて頂きます。この表のうちRI第3640地区及びRI第2520地区からのDDFに対するWFからの上乗せは、当時は100%でしたが、現在は80%になっています。グローバル補助金の対象となる事業は実施予算が30000ドル以上ですが、この表でわかるように総事業費46000ドルに対して、ソウルROTCロータリークラブから拠出した現金は3000ドル、仙台宮城野ロータリークラブが拠出した現金は1000ドルです。個々のクラブとしてそれほど多くの支出をしなくても、これほど大きなプロジェクトが実施できるのがグローバル補助金だと思います。

この事業を実施したことで、2019年5月にRI第3640地区のソウルで開催された地区大会において、仙台宮城野ロータリークラブはソウルの未婚の母支援団体より感謝牌を頂きました。また、その時はRI第3640地区のガバナーノミネーであったソウルROTCロータリークラブのNoh, Haeng-Sik(魯:ノさんと呼ばせて頂いています)パストガバナーと私とは、その後も同じプロジェクトを実施した同窓生のような気持ちでお付き合いさせて頂いており、この事業は私のロータリーライフにおいて、とても有意義なイベントとなりました。

My Rotaryのロータリーショーケースには、グローバル補助金の相手国を募集している事業も掲載されています。皆様のクラブにおかれましても、今月の「地域社会の経済発展月間」を機に、グローバル補助金活用についてMy Rotaryやロータリーボイスを覗きながら、どんな事業ができるか検討してみたいはいかがでしょうか？

「プロジェクトの予算」と「補助金の支給額」

ソウル市内の未婚の母に技術・技能を訓練する機会を与え、母親が社会の中で自活し、親子として人並みの所得が得られるように支援する。

実施場所		ソウル市		
総事業費		\$ 46,000		
参加地区・クラブ	資金提供	地区活動資金	現金	財団上乗せ
実施国側	ソウルROTC RC		\$ 3,000	50% → \$ 1,500
	第3640地区	\$ 13,000	100%	\$ 13,000
援助国側	仙台宮城野RC		\$ 1,000	50% → \$ 500
	第2520地区	\$ 7,000	100%	\$ 7,000
小計		\$ 20,000	\$ 4,000	\$ 22,000
調達資金総額		\$ 46,000		

表1



私が歩んできたロータリーとこれからのロータリー

～マイ・ロータリー・ライフ～

2004-2005年度 ガバナー

小川 惇 Makato Ogawa

● 地区統合

私は1976年に盛岡ロータリークラブに入会し、28年後の2004～05年度のガバナーを務めました。その前年度に宮城と岩手が統合されて新しい地区となっております。それまで2つの地区であった宮城と岩手が効率的運営と経費削減のため統合が望ましいとの国際ロータリーの指導を受け、2003～04年度から実施されることになったからであります。そのためガバナーノミニーであった私は両地区の行事に参加することになりましたが、それが宮城の方々を知る良い機会になりました。また、クラブ数も45と45の90クラブと大世帯の地区となりました。ガバナー選出は宮城と岩手が交互に選出することになり、初年度は宮城岩沼クラブの森川治三氏で次の岩手は私が務めることになりました。

● 国際ロータリー創立100周年

年度後半の2005年は、国際ロータリー創立100周年という大きな節目の年で、RI会長テーマは「ロータリーを祝おう」でありました。先人達の100年のすばらしい業績を祝い、現在のニーズを見つめなおして、次の100年への方向性を見定めて出発しようとするものでしたが、私はそのニーズとして「危機感を持っているクラブの再生・元気なクラブづくり」を重点事項として年度前の諸行事に各クラブにお願いしました。それは、都市部より地方部のクラブが会員の減少、高齢化が大きな問題として存在していたからであります。この状況は現在も続いておりますが、20年前の統合時から既に危機感を持っていたこととなります。しかし、年度末には100周年を区切りの理由付け

とし、岩手の3クラブが脱会、1クラブが合併という逆効果の事態を招くことになりました。

● ガバナー誕生

それから13年後の2018～19年度、岩手側からのガバナー選出が難航しました。タイムリミットが迫り、ちょうど創立80周年を迎えた盛岡クラブから候補者を出すべきだとの声が高まりました。それは仙台クラブが創立80周年に向けて藤崎ガバナーを選出した実例があったからであります。盛岡クラブでは、当時第一分区のガバナー補佐を務め、温和で地区の人脈にも通じている田中堯史会員を最適人者としてクラブ一致で推薦することができました。盛岡クラブ5人目(6年度)のガバナーであります。

● マイ・ロータリー・ライフ

私が歩んできた47年のロータリーライフを振り返ってみて感じることは、時代は変わってもロータリーの存在意義は変わっていない、そしてロータリーを存続するためには地域での公共イメージと認知度を高め、常に若い力を注入して、時代に即応した活動を展開していくことだと思えます。

「私が歩んできたロータリーとこれからのロータリー」

パストガバナーからのメッセージを掲載致します。

近年、世界の情勢も情報化社会も急速に変化している中、ロータリーにつきましても同様のことが言えるのかと思います。当地区のロータリアンの皆様におかれましては、それぞれロータリーについて考え、それぞれの奉仕活動にご尽力されていることと思えますが、一方でその急激な変化から、ややもするとロータリー活動において迷いが生じている会員の方々もいらっしゃるかと思います。

そこでこの度、パストガバナーの皆様からRI第2520地区の会員

の皆様への道標として「私が歩んできたロータリーとこれからのロータリー」というテーマで寄稿をお願い致しました。内容につきましては、ガバナー就任時に重点を置いていたこと、良かったことや苦労したことなどのエピソード、また、近年のロータリーについて考えること、ロータリアンに対するエールなどで地区ロータリアンの皆様を元気づけて頂ける様にお願ひ致しました。

私も楽しみに読んでいきたいと思えます。

(2023-2024年度ガバナー 森川 昭正)



これからのロータリーについて

2005-2006年度 ガバナー

桑原 茂 Shigeru Kuwahara



この機会に、皆さんと一緒に「これからのロータリー」について考えて見たいと思います。

ただいま「ロータリーのDEIの協調」を促しておりますが、以前から私が唱えていた問題を提示させていただきます。

皆さんは、ロータリアンとロータリークラブが、これまでと同じでいいと考えておられますか。それとも21世紀においてロータリークラブを強化・活性化するためには、これまでと同じでは発展できないと考えておられますか。ここで取り組まなければならない問題は、次のようなものです。

ロータリーが存続する限り地域や国家、そして文化や歴史が違って、時代を超えて変えてはならない原理・原則がロータリーにはあるのか。それがあれば、それは何かということです。そして、今そのロータリーの原理・原則をクラブ・レベルで、どの程度、学習・教育をされているのでしょうか。

ロータリーで時代を超えて変わってはならないものは「親睦(友情)と奉仕の理想」(人に対する思いやりと人の手助け)であると言われております。

ロータリーは親睦と奉仕が車の両輪であって、これがバランスよく保たれているところにロータリーの発展と進化があります。今、ロータリーは奉仕のうち、一人一人が主役として参加する職業奉仕や地元地域社会に対する奉仕よりもポリオ撲滅募金キャンペーンのような世界的に大規模な奉仕プロジェクトを中心とした国際的な「奉仕」にウェイトが置かれ過ぎていないでしょうか。

この奉仕ももちろん取り組んでいかなければなりません、まずは職業奉仕や地元地域社会の奉仕から、と思います。

ところで今、各地区のロータリークラブは例会を始め、いろいろな会合や奉仕活動が形式的になって少しも楽しくなくなったという意見があります。これは親睦がロータリー全体の中で軽視されて、クラブの運営が、歴史的な慣例だけを重視して、ただ義務的になってしまっているからだと思います。

楽しくなければロータリーでないということを取り戻す必要があると考えます。そして、ロータリーの扉はロータリアンにふさわしい人に開けてもらわなくてはなりません。そこでクラブにおいても地区・RIIにおいてもロータリアンの質を高める学習・教育・訓練することが大切であると思います。今後の皆さんの活躍にご期待いたします。



パストガバナーからのメッセージ掲載予定

2023年 8月号	白倉義則パスト・伊藤大亜パスト	2024年 2月号	松良千廣パスト・山口淑子パスト
2023年 9月号	皆川清パスト・菊地弘尚パスト	2024年 3月号	菅原裕典パスト・濱守豊秋パスト
2023年 10月号	小川惇パスト・桑原茂パスト	2024年 4月号	藤崎三郎助パスト・田中堯史パスト
2023年 11月号	笠井昭彦パスト・八谷郁夫パスト	2024年 5月号	鈴木賢パスト・伊藤智仁パスト
2023年 12月号	西郷典安パスト・笹氣光祚パスト	2024年 6月号	鈴木俊一パスト・天沼久純パスト
2024年 1月号	菅原一博パスト・小野寺則雄パスト		



Sow the Seeds of Love

2002-2003年度 ガバナー

菊地 弘尚 Hironao Kikuchi

私は、2002～03年度RI2520地区(岩手45クラブ)ガバナーを拝命しました。ロータリー歴21年(62歳)の馬齢を重ねただけの井の中の蛙が、国内はもとより世界に飛び出したのですから、それはもう大変な冒険でありプレッシャーの連続でした。

その年度はタイ国・バンコク市出身のビチャイ・ラタクル氏がRI会長でした。「ロータリーの至宝」と称されたお方です。(2022年2月28日ご逝去 享年95歳)

米国アナハイムで開催された7日間のRI国際協議会で学んだ究極のロータリー教室は、来るべき地区ガバナーとして如何にあるべきかを徹底して仕込まれ、洗脳(?)された貴重な体験でした。

初日の第一セッションで、ビチャイ・ラタクルRI会長エレクトによって、年次テーマを「Sow the Seeds of Love」「慈愛の種を播きましょう」と、究めて東洋的で慈悲深く心を伝えるテーマが発表されました。

RI会長エレクトは、「ロータリーの核心はクラブにあり、クラブを充実させるには、上位下達(トップダウン)ではなく、草の根レベルから立ち上がって(ボトムアップ)で実践しよう。そして、真のロータリーが求める慈愛の世界を鼓舞しましょう。「慈愛」とは、無償の愛であり、「種を播く」とは、地域社会に奉仕することです」と説かれました。

更に、「ロータリアンというのは単にクラブに所属するとか、クラブに通うとか、ロータリー財団に寄付するというだけでは御座いません。ロータリーというのは1つの生き方であります。ロータリーから学ぶことは非常に多く、ロータリーの活動を通じて、ロータリーを広めるご貢献を賜りたいと思います」と。

アナハイムでの感動的なテーマ発表は、実に完結にして奥深く、慈悲の心を説いた素晴らしい講話でした。

奉仕活動の実践として、母子家庭の子供たちと過ごした海岸での休日、ビチャイRI会長自身が「超我の奉仕」「へ目覚めたロータリーマジック体験秘話等々。鳥肌の立つような感動・感激の受講でした。既に21年ほど年月を過ぎておりますが、あの日を、私は生涯忘れることはないでしょう。

私が歩んできたロータリー歴は僅か42年程の若輩者です。その間に得た「超我の奉仕」、「好意と友情」そして「出会いと感動」は筆舌に尽くせないほど沢山の体験をさせて頂きました。私の人生訓の一つに「頼まれ事は、試され事」があります。ロータリアンとして全く未経験の難問苦悶を頼まれ、試されました。多くの皆様のご協力を頂き何とか今日に至っております。

感謝



【お詫び】

月信9月号に掲載しました「パストガバナーメッセージ」で、2002-2003年度ガバナー 菊地弘尚様ご本人ではない方の写真を掲載致しました。訂正してお詫び申し上げます。申し訳ございませんでした。改めてここに掲載させていただきます。



地域社会の 経済発展月間に寄せて

仙台経済同友会

西井 英正

Hidemasa Nishii

仙台経済同友会は、「宮城に拠点を置く企業の立場から、地域の経済社会の発展に寄与するための提言を行い、その実現のためにみずから行動する経営者の集まり」となっており、ほぼ毎月幹事会・例会を行っています。

同友会の特徴として、自由闊達な意見の交換があると感じています。それぞれの立場の方々が意見を交換する事で新しい気付きや学びが生まれます。同友会会員であるロータリアンの方も多くいらっしゃるとは思いますが、是非同友会の活動に触れて頂ければと思います。

さて、仙台経済同友会では札幌・仙台・広島・福岡と四極円卓会議を年に一回行っています。その会議では、東京一極集中と少子化への対策をどう考え、実行するかが話題に上ることが多くあります。四極それぞれの地域の存在感は高いと思いますが、将来にわたる課題として地域の活性化や少子化に取り組まなくてはなりません。私個人としては、東京一極集中の是正を図るのではなく、それぞれの地域が東京と違う価値を高め、広く伝えていくことが重要だと考えています。

地方では働く場所が少ないとよく言われますが、人手不足が叫ばれる昨今、地方の受け皿も拡大しているのではないかと思います。一方、働き方の価値観も多様化しています。ワークライフバランスを重視する層が増える一方で、仕事のやりがいを求める層も見

受けられます。さらに、大企業志向型の層も多く存在しますが、社会的課題の解決や社会貢献に積極的な企業や組織を志向する層も増えています。この価値観の変化が結婚や出産に対して影響を及ぼしている面もあると思います。

このような様々な価値観を受け入れ、組み合わせることは新しい組織につながっていくと思います。多様性(ダイバーシティ)を取り込むことが新しい価値を生み出す一つの方法になると思います。そして、多様性を認め合う社会を地域が受け入れて発展すれば、地域社会の新しい在り方になると思っています。すると、地域社会の将来は明るいものになるのではないのでしょうか。



米山月間に寄せて



米山記念奨学会委員会
委員長

清水 努 Tsutomu Shimizu

1. 米山月間の由来について

今年も米山月間がやってきました。皆さんはどうして10月が米山月間になったかご存知ですか?今回は改めてその由来についてご紹介します。1975年8月、米山梅吉氏が逝去した4月28日までの1週間を「米山週間」とすることが決定しました。ある地区ですで行われていた強化活動を全国へ広げ、米山奨学事業を促進することが目的でした。

しかし1980年度になると米山週間は4月から10月1日～7日へと変更されました。

理由はいくつかありますが、大きな理由は東京RCによると米山基金から日本全地区クラブの共同事業とする決議や合意が行われた地区大会がいずれも10月だったこと、これが大きな理由とされています。1983年から週間制度が「月間」となり、10月が米山月間として定着し今に至っています。

2. 米山記念奨学金創設の目的

世界の平和を願って始まったこの事業は、日本が再び戦争の過ちを繰り返さない誓いと、世界に“平和日本”の理解を促すことにありました。留学生が平和を求める日本人と出会い、互いに信頼しあう関係を築き、世界の「懸け橋」となることを願ってつくられました。

3. 寄付金の増進について

ロータリアンの寄付金を財源とし、年間奨学生は約900名、支給額はおよそ1億4千万円の奨学金を支給しています。2024学年度採用数は898名で当地区の割合数は11名となっています。採用数の割当は寄付額で決まります。1人でも多くの奨学生を受け入れるためには、更なる寄付金の増進が必要となります。会員の皆様には、普通寄付金としてご寄付をいただきますが、個人または法人としての特別寄付金へもご協力いただきたく改めてお願いいたします。結びになりますが、地区の会員の皆様が寄付金に託す思いと感謝を心に刻み委員会活動を推進してまいります。今後とも皆様のご支援とご協力をよろしく願います。



米山梅吉氏

【ガバナー公式訪問 報告】

第2 北上・北上西・北上和賀 ロータリークラブ

■開催日:8月1日(火) ■会場:プランニュー北上
■同行者:照井敬孝 ガバナー補佐/延川正英 地区筆頭副代表幹事

会長・幹事会では、北上3RCクラブ各会長から今年度の活動計画、現在抱えている問題点について説明があり意見交換を行いました。森川ガバナーから、この3クラブは青少年の活動に長年に渡り協力があり、また青少年の活動への支援が手厚いというコメントを頂戴し嬉しく感じました。また、3クラブ共通の課題である会員増強について、例会への招待状をつくって招待するなどヒントを頂きました。活動計画について、中～長期で考えていく継続的活動を入れていくこと、リアルで顔を合わせながら近くのクラブの活動にも協力しロータリークラブ全体の活性化をはかること、ロータリーデー前後一週間「ロータリーデー」という名前を前面に出しての活動をお願いしたい、標準定款の変更のチェックをして欲しい等のお話がありました。北上3RC合同の公式訪問例会では、森川ガバナーより、今年度のRI会長が掲げたテーマと方針についてお話があり、「世界に希望を生み出そう」というテーマを前面に掲げつつ、「親睦と奉仕」を基に、愉しく活動して欲しいというメッセージが心に残りました。

(報告者:室岡雅子/北上RC幹事)



北上RC



北上西RC



北上和賀RC

第7 仙台宮城野 ロータリークラブ

■開催日:8月3日(木) ■会場:ホテルメトロポリタン仙台21階 銀河の間
■同行者:松坂宏造 ガバナー補佐/ホームクラブ

森川ガバナーのホームクラブとして、公式訪問を開催できましたこと大変嬉しく思います。森川ガバナーよりお話頂きました、クラブの奉仕活動について「希望を生み出そう」を事業テーマに掲げる、10月1日のロータリーデーへの参加、DEI推進および女性のエンパワーメントに関する卓話の実施について、クラブとしても積極的に取り組んで参りたいと思います。森川ガバナーと共にロータリーを楽しみ、会員一丸となって盛り上げて参りたいと思います。

(報告者:荒若健志/仙台宮城野RC会長)



第7 仙台レインボー ロータリークラブ

■開催日:8月4日(金) ■会場:ANAホリデー・イン仙台
■同行者:秋田陽子 ガバナー補佐/横山昭一 代表幹事

会員数が30名以上のクラブでも会員増強に向けて、いろいろなアイデアを考え、会員一人一人頑張っています。その事でより多くの支援ができるのです。

クラブから退会者を出さない為にも例会を充実させ、様々な情報を提供することや、クラブ内で自由に話し合える環境を整えたいと思います。

又、在仙の各クラブとの合同例会、地域の方々との交流等を通じて会員増強に向けて、仙台レインボーロータリークラブの魅力を発信していきます。

(報告者:大槻正信/仙台レインボーRC幹事)



第7 分区

仙台北 ロータリークラブ

■開催日:8月9日(水) ■会場:江陽グランドホテル
■同行者:松坂宏造 ガバナー補佐/横山昭一 地区代表幹事

当日、11時30分より森川ガバナー公式訪問例会を前に仙台北RC 綿谷秀弥会長、阿部修幹事と松坂宏造ガバナー補佐の進行により、会長幹事会を行いました。綿谷会長より会長方針「前進そして飛躍(その前に匍匐)」と仙台北RC のモットー、「例会を楽しく豊かに」の説明をしました。つづいて、森川ガバナーからRI と地区方針のお話を頂いたのちに当クラブの課題について意見交換を行いました。例会では、ガバナーよりガバナー方針と地区活動について丁寧な説明を頂き、これからも仙台北RCらしい楽しく豊かなクラブ活動をして欲しいとの言葉を頂きました。ガバナー方針を理解して今後のクラブ活動に活かしていきたいと思えます。ありがとうございました。(報告者:阿部修/仙台北RC幹事)



第6 分区

七ヶ浜 ロータリークラブ

■開催日:8月21日(月) ■会場:七ヶ浜国際村
■同行者:高橋陸夫 ガバナー補佐/佐藤優昭 副代表幹事

会長・幹事会では、年次計画書に基づき会長が説明を行い、森川ガバナーからはRIテーマである「世界に希望を生みだそう」をキャッチフレーズとして活用し活動をするようにのご助言をいただきました。また、会員増強は年1回程度の招待状作戦も有効であるとの経験談もいただきました。例会は、国歌斉唱・ロータリーソング・4つのテストの唱和で始まり、記念卓話としてご用意頂いた資料をもとに講演をいただきました。ロータリーの活動の基本は親睦と奉仕であることを説いていただき、当クラブ会長の活動方針にもあります「ロータリーを楽しもう」を合言葉に活動の充実を図ることを確信させていただきました。ご訪問に心から感謝申し上げます。(報告者:岡崎正憲/七ヶ浜RC幹事)



第3 分区

気仙沼・気仙沼南ロータリークラブ

■開催日:8月22日(火) ■会場:サンマリン気仙沼 ホテル観洋
■同行者:上関優 ガバナー補佐/延川正英 筆頭副代表幹事

会長幹事会では、両クラブの今年度の活動予定につきまして、ガバナーよりアドバイスをいただくとともに、長年の課題である会員増強につきまして、非常に参考となるアドバイスを頂戴いたしました。また、例会においても森川ガバナーが当地域へ以前からたくさんのご縁をお持ちだったこととお話くださり、非常に和やかな雰囲気の中、今年度の国際ロータリーの方針、地区の方針をわかりやすくご講話いただきました。会員一同今年度の活動により一層邁進していく決意を新たにいたしました。

(報告者:鈴木淳平/気仙沼RC会長)



第8 分区

亶理 ロータリークラブ

■開催日:8月24日(日) ■会場:中正旅館
■同行者:佐々木一雄 ガバナー補佐/伊藤 英実 副代表幹事

ガバナー公式訪問例会の前に、ガバナー補佐の司会で会長幹事会が開かれました。最初に各自自己紹介をしました。ガバナーから一年間楽しいクラブ運営をして欲しいとの話がありました。会長からは、今年度の活動計画として会員増強と地元の亶理高校の就職活動の手伝いや、地区内の施設の清掃活動などに取り組んでいきたいと報告いたしました。又、ガバナー補佐から以前あった三クラブ合同例会を再開したいとの話がありました。夜間例会では、各委員長より今年度の活動方針を発表しました。ガバナー公式訪問ではプロジェクターとスクリーンを使い丁寧にご説明を頂きました。『継続』『変化』『平和』『希望』などのお話がありました。ガバナー補佐からは、準備に関してお褒めの言葉を頂きました。猛暑の中の公式訪問の皆様大変ご苦労様でした。また、ご指導ありがとうございました。(報告者:手戸雅巳/亶理RC幹事)



ロータリー財団管理委員長イアンH.S.ライズリー氏より感謝状

第2520地区は、2022-23年度においてロータリー財団の補助金報告要件の遵守を達成しましたので、ロータリー財団管理委員長イアンH.S.ライズリー氏より感謝状をいただきました。



感謝状

ロータリー財団より以下の地区に贈呈いたします

ロータリー第2520地区

ロータリー補助金の報告において

2022-23

年度に少なくとも90%が
遵守されたことを称えます



イアン H.S. ライズリー
管理委員長

第2520地区ロータリー財団セミナー 補助金管理セミナーを終えて

今年度の第2520地区ロータリー財団セミナー・補助金管理セミナーは8月5日(土)に135名の参加のもと開催することができました。今年度は、第一地域ロータリー財団コーディネーターの飯村慎一様を特別ゲストにお迎えし、財団全般にわたる講演をお願いいたしました。また、グローバル補助金財団奨学生の米澤出さんによる、大学で過ごしたお話など長時間にわたったセミナーとなりました。昨年度(2021・22)も皆さまのご協力とご支援により0クラブ0を達成することができました。その中で、地区目標の年次基金150\$を達成された14クラブと、ポリオ基金30\$を達成された8クラブに感謝状を贈呈させていただきました。今年度の地区目標も昨年度と同じでございますので、各クラブのご協力をお願いいたします。また、今年度は事前にアンケートの回答をいただき、セミナー会場では、貴重なご意見等もいただきました。今後、皆様方と地域社会・世界に貢献できるロータリー財団になってまいりたいと思います。

77ロータリークラブが、出来る限りロータリー財団地区補助金・グローバル補助金を使用したプロジェクトを計画し推進していただきたいと思っております。近年は日本を始め世界中で大きな自然災害がおきております。そのための災害復興基金、ポリオ根絶の為にポリオ基金等取り組んでまいりたいと思っておりますが、そのためにも皆様のご協力をお願いいたします。この一年間のご支援とご協力をお願い申し上げます、今年度のロータリー財団セミナー・補助金管理セミナーへの参加のお礼とさせていただきます。

【ロータリー財団委員長 小野寺則雄】

インターアクト年次大会2023開催報告

インターアクト委員会 委員長 佐藤 知樹 (仙台RC)



去る7月30日、仙台育英学園高等学校において「インターアクト年次大会2023」を開催しました。岩手・宮城県内14校より129名ものインターアクターと19名の先生方、そして56名のロータリアンにご参加いただき、大盛況のうちに終了しました。

今年度のホストクラブは仙台東ロータリークラブ(小澤政弘会長)、ホスト校は仙台育英学園高等学校(加藤雄彦理事長・校長)が務められ、早くからみなさまをお迎えするための準備をしていただきました。

当日はセレモニーの後、各校インターアクトクラブ(IAC)の活動報告プレゼンテーションに続き「みやぎ東日本大震災津波伝承館ボランティア解説員」をされている菊田あかりさん(仙台育英学園高)より「世代を超えた架け橋に」と題した基調講演、それを踏まえたテーブルディスカッションを実施。地域・学校の枠を超えた交流によりそれぞれにたくさんの学びを得て、今後のIA活動に活かされることを切に望みます。なお、当日の様子は「ロータリー2520アプリ」及びホームページに掲載しておりますのでご確認ください!



年次大会風景全景



テーブルディスカッション風景



ホストクラブ・仙台東RC小澤会長ご挨拶

青少年交換(長期)来日生オリエンテーション・引き渡し式

青少年交換(長期)委員長 佐々木 史昭 (花巻RC)



2023年8月18~20日、国際ロータリー第2520地区2023-24年度青少年交換(長期)インバウンド生が無事仙台空港へ到着し、オリエンテーション並びにホストクラブへの引き渡し式が行われました。今回は3名で、アメリカ合衆国アーカンソー州第6110地区からKolt Lee BURTON(コルトリー・バートン)さん、同じくミネソタ州5960地区からAlison HUANG(アリソン・ファン)さん、台湾台北市近郊第3490地区からI-Lin CHEN(イーリン・チェン)さんが、2024年6月までの約10か月間、当地区に滞在されます。コルト君はハイキングやキャンプが好きなアウトドア派で、一関RCのホストにより岩手県立一関一高へ通います。アリソンさんは中国系アメリカ人2世で英語と中国語が堪能、仙台南RCのホストにより常盤木学園高へ通います。イーリンさんは絵を描くのがとても得意で、仙台東RCのホストにより仙台育英学園高へ通います。オリエンテーションではROTEX4名のサポートを受け、日本語の自己紹介が立派に出来る様になりました。みなさまの温かいご支援を、何卒宜しくお願い致します。



左からI-Lin、Alison、Kolt



2023 世界ポリオデーに行動しよう！

第1弾

2023 END POLIO NOW ポリオ根絶チャリティーゴルフ

猛烈な残暑の9月、3連休の最終日 敬老の日、表蔵王国際ゴルフクラブにて、森川ガバナー、菅原裕典・鈴木賢パストガバナー、第2520地区8クラブのロータリアンが集い、END POLIO NOW ポリオ根絶 チャリティーゴルフコンペが開催されました。開会式には早朝から加藤雄彦ノミニーも来られ、真っ赤なEPN・Tシャツがゴルフ場を埋め尽くし、大いに盛り上がりました。

個人部門は仙台南RC小松会員が、団体部門は仙台北RCが其々優勝し、そして懇親会! CharityBoxを廻したところ、多額のチャリティーを頂きました。

猛暑のプレーで体調を崩された方も居たりと、参加の皆様、本当に遅くまでありがとうございました。

集まった募金はガバナー事務所からポリオ基金へ出場された皆様の氏名・所属クラブを明記し送金させていただきます。



第2弾

映画「ブレス～しあわせの呼吸」上映会



国際ロータリー第2520地区では10月24日(火)世界ポリオデーのイベントとして、10月22日(日)に上映会を開催いたします。

10月22日(日)

国際ロータリー第2520地区 主催

映画「ブレス～しあわせの呼吸」上映会

世界ポリオデー2023 映画上映会について
詳しくは、右記QRコードからPDFをご覧ください。



新入会員紹介

 二戸RC のぐち たけひこ 野口 健彦 2023.8.3 入会 電力事業	 二戸RC しばた とおる 柴田 徹 2023.8.3 入会 保険業	 盛岡北RC さとう りょうこう 佐藤 亮厚 2023.9.6 入会 建設請負業	 花巻RC たかはし さくら 高橋 さくら 2023.8.1 入会 薬局	 花巻南RC しみず ゆみこ 清水 由美子 2023.9.7 入会 石材加工	 奥州水沢東RC よう きみえ 楊 貴美枝 2023.7.11 入会 飲食業
 大船渡RC たにぐち りょうき 谷口 僚基 2023.7.5 入会 生命保険	 大船渡RC こんの こうとく 今野 幸徳 2023.7.5 入会 電気工事	 陸前高田RC たかはし ゆうき 高橋 勇樹 2023.8.1 入会 小売業	 釜石東RC たかはし まさかつ 高橋 昌克 2023.8.1 入会 産業医	 山田RC いしやま かつたか 石山 勝貴 2023.7.1 入会 水産業	 仙台RC みずかみ じゅんいちろう 水上 淳一郎 2023.7.11 入会 損害保険
 仙台RC すずき なおゆき 鈴木 直行 2023.7.25 入会 建設業	 仙台RC ふじのき まさや 藤ノ木 正哉 2023.7.25 入会 民間放送	 仙台冠RC ふじわら ことか 藤原 琴香 2023.7.5 入会 経営コンサルタント	 仙台北RC いとう ひでのり 伊藤 秀憲 2023.9.6 入会 建築設計監理及び保守	 仙台西RC たかはし としひろ 高橋 敏洋 2023.7.28 入会 保険・生命	 仙台奥羽RC さとう ひるあき 佐藤 博昭 2023.7.4 入会 歯科医
 仙台奥羽RC すずき まさのり 鈴木 政憲 2023.7.4 入会 医業	 大河原RC うえの だい みほ 上ノ台 美穂 2023.7.15 入会 芸能	<p>【訃報】</p> <p>謹んでご冥福を お祈り申しあげます。</p>		 盛岡西RC ささき としろう 佐々木 敏郎 2023.7.28 逝去(享年96歳) 1966.5.7 入会	 盛岡中央RC にし の としお 西野 利夫 2023.8.7 逝去(享年89歳) 1988.5.10 入会

【退会会員報告】

クラブ	氏名	職業分類	退会日
佐沼RC	佐藤 幸一	石灰製造	2023.8.31
盛岡西北RC	長澤 一信	家庭燃料販売	2023.8.31
盛岡南RC	坂下 文人	ホテル業	2023.9.5

【財団寄付】

■ロータリー財団

2023年8月認証

寄付分類	所属クラブ	氏名
ベネファクター	水沢RC	佐藤 剛
マルチプル・フェロー	盛岡中央RC	鷹羽 金司
	石巻西RC	熊谷 義彌
	石巻東RC	鈴木 忠彦
	石巻西RC	三浦 義介
ポールハリス・フェロー	仙台南RC	山下 晴輝
	盛岡中央RC	須山 通治

■ロータリー米山記念奨学会

2023年8月認証

寄付分類	所属クラブ	氏名
米山功労者 マルチプル	気仙沼RC	猪狩 金次郎
	盛岡RC	下道 利幸

2023-2024年度 行事予定表(10・11月)

月	日	曜日	行事	場所
2023年				
10月	1	日	「ロータリー奉仕デー」地域清掃プロジェクト	各クラブ地域内
	7	土	天沼直前ガバナー慰労会	ホテルメトロポリタン盛岡
	14	土	米山記念奨学生研修旅行	松島方面
	22	日	国際ロータリー第2520地区 主催 映画「プレス～しあわせの呼吸～」上映会	株式会社バイタルネット本社
			派遣生(長期・短期)選考会	常盤木学園高校
24	火	ポリオ・デー		
11月	4	土	2023-2024年度 RYLA(～5日)	岩手県立県南青少年の家
	11	土	第三分区 インターシティミーティング	大船渡プラザホテル
	19	日	第52回 ロータリー研究会ならびに付随プログラム(～22日)	神戸ポートピアホテル
			ロータリー財団地域セミナー	神戸ポートピアホテル 南館1F大輪田C
			米山記念奨学会・学友会りんご狩り	岩手県一関近郊
	20	月	第2回ガバナー会議および事前会議	神戸ポートピアホテル 南館B1F「サファイア」
ガバナーエレクト研修セミナー (GETS)			神戸ポートピアホテル 南館B1F「エメラルド」	
ガバナーノミネー研修セミナー(GNTS)			神戸ポートピアホテル 南館B1F「トパーズ」	





IWATE AREA

第一分区

- 1 久慈 RC
- 2 二戸 RC
- 3 種市 RC
- 4 盛岡 RC
- 5 盛岡北 RC
- 6 盛岡西 RC
- 7 盛岡南 RC
- 8 盛岡東 RC
- 9 盛岡中央 RC
- 10 盛岡西北 RC
- 11 盛岡滝ノ沢 RC

第二分区

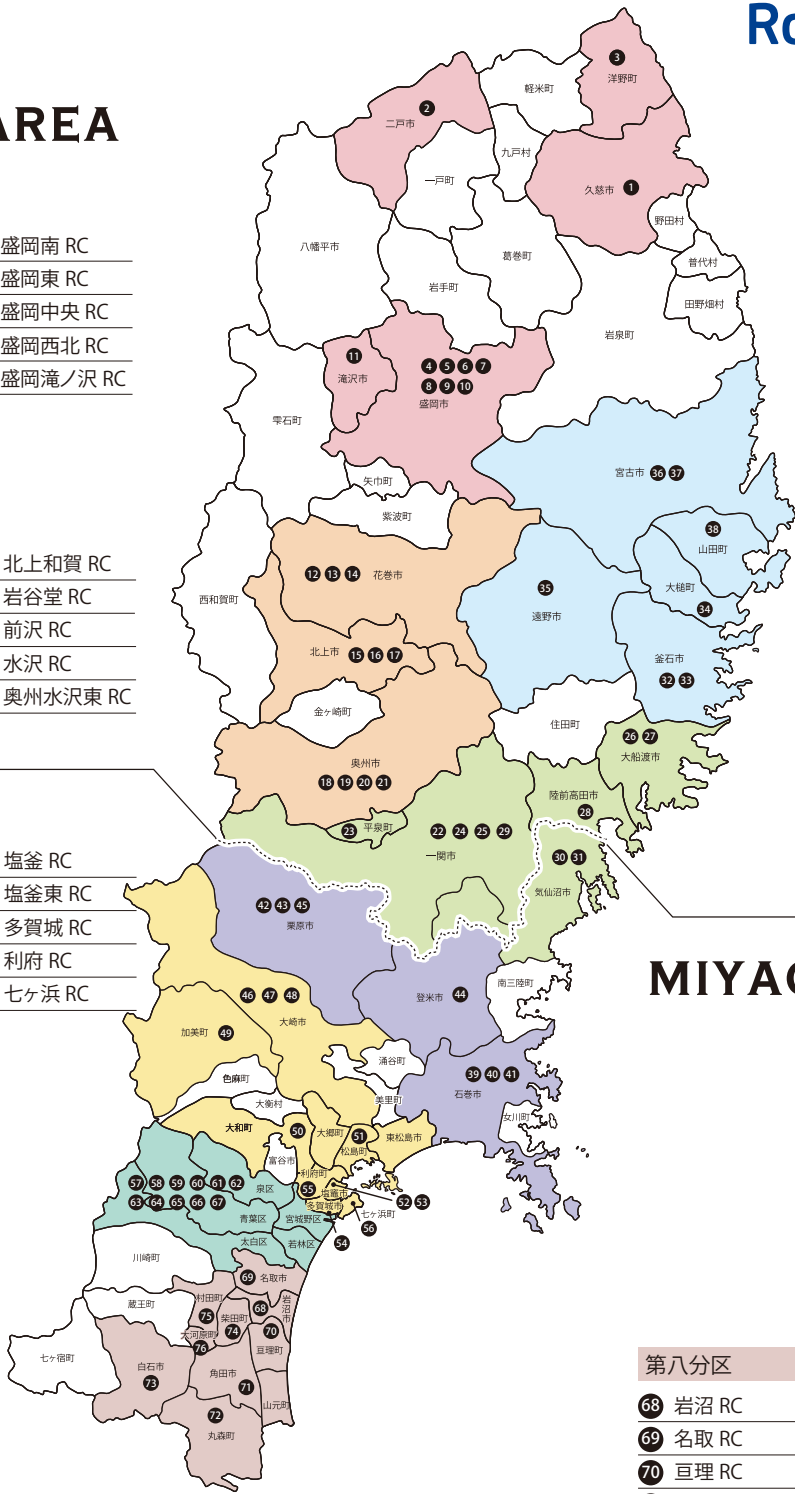
- 12 花巻 RC
- 13 花巻南 RC
- 14 花巻北 RC
- 15 北上 RC
- 16 北上西 RC
- 17 北上和賀 RC
- 18 岩谷堂 RC
- 19 前沢 RC
- 20 水沢 RC
- 21 奥州水沢東 RC

第六分区

- 46 古川 RC
- 47 古川東 RC
- 48 岩出山 RC
- 49 加美 RC
- 50 大和 RC
- 51 松島 RC
- 52 塩釜 RC
- 53 塩釜東 RC
- 54 多賀城 RC
- 55 利府 RC
- 56 七ヶ浜 RC

第七分区

- 57 仙台 RC
- 58 仙台泉 RC
- 59 仙台青葉 RC
- 60 仙台冠 RC
- 61 仙台レインボー RC
- 62 仙台南 RC
- 63 仙台北 RC
- 64 仙台東 RC
- 65 仙台西 RC
- 66 仙台宮城野 RC
- 67 仙台奥羽 RC



第四分区

- 32 釜石 RC
- 33 釜石東 RC
- 34 大槌 RC
- 35 遠野 RC
- 36 宮古 RC
- 37 宮古東 RC
- 38 山田 RC

第三分区

- 22 花泉 RC
- 23 平泉 RC
- 24 一関 RC
- 25 一関中央 RC
- 26 大船渡 RC
- 27 大船渡西 RC
- 28 陸前高田 RC
- 29 千厩 RC
- 30 気仙沼 RC
- 31 気仙沼南 RC

MIYAGI AREA

第五分区

- 39 石巻東 RC
- 40 石巻西 RC
- 41 石巻南 RC
- 42 栗駒 RC
- 43 築館 RC
- 44 佐沼 RC
- 45 若柳 RC

第八分区

- 68 岩沼 RC
- 69 名取 RC
- 70 亶理 RC
- 71 角田 RC
- 72 丸森 RC
- 73 白石 RC
- 74 柴田 RC
- 75 村田 RC
- 76 大河原 RC

〈 編集後記 〉

9月も後半に差し掛かるというのに、まだ秋は訪れる気配はないようです。会員の皆様には体調管理には充分気を付けてお過ごし下さい。ガバナー公式訪問もやっと折り返しとなりました、まだまだ気合を入れて頑張ります！

ガバナー月信編集長 佐藤 優昭

国際ロータリー第2520地区 2023 - 2024年度 ガバナー事務所

〒980-0014 宮城県仙台市青葉区本町1-1-8
第一日本オフィスビル8階4号
開所時間 / 月～金 9時～17時(土・日・祝日休み)
TEL 022-224-0151 FAX 022-224-0152
E-mail: ri2520-sendai@sage.ocn.ne.jp